

2008年4月4日  
株式会社光洋  
イオン株式会社

イオン（株）による京阪神地区の食品スーパーマーケット事業の（株）光洋への  
会社分割契約締結に関するお知らせ

イオン株式会社（以下「イオン」）は、本日代表執行役社長岡田元也による決定により2008年6月21日を分割期日に、グループにおける食品スーパーマーケット（以下「SM」）事業強化の一環として、直営のSM事業のうち、近畿圏の京阪神地区で展開する15店舗（うち、1店舗は分割期日までに開店予定）の運営を連結子会社である株式会社光洋（以下「光洋」）に承継させる吸収分割契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件吸収分割は、連結子会社と行う簡易会社分割であるため、開示事項・内容を一部省略してあります。

記

1. 会社分割の目的

今日、日本の小売業界は、少子高齢化社会の到来、異業種のマーケット参入など競争環境は、一層激しさを増しております。

このような中、イオンは、SM事業をグループの基幹事業の一つと位置づけ、各地域にSM事業会社を配置し、地域に根ざしたSMとして、成長戦略の推進と強固な経営基盤の構築に取り組んでおります。

また、地域単位に事業体制の強化と拡充を進め、近畿地区においては、昨年12月に光洋を子会社とし、直営のマックスバリュ事業とともに、店舗網を拡充し競争力を強化する事業体制を整えてまいりました。

この度の事業統合は、特に生鮮やデリカ部門の強みを有する光洋と、商品の品揃えや価格、金融サービスなどに競争力を持つ近畿地区のマックスバリュ事業を一体化させ、近畿地区でのSM事業を担う中核会社を創出するものです。これにより、新生光洋は、強固な経営基盤の構築を通じて、競争力の強化と経営効率化を図るとともに、更なる成長戦略の推進に向けた事業体制を構築するものです。

新たに誕生する光洋は、双方の経営資源を活用することにより、立地に応じた多様な店舗展開や、IT・物流等のインフラを最大限に活用し、これまで以上に充実した商品やサービスの提供を行ってまいります。また、それぞれの強みをさらに進化させる事により、今まで以上にお客さま満足を追及する事が可能となり、光洋の成長と発展をより確実なものとし、グループの企業価値向上に寄与する事ができると捉えております。

2. 会社分割の要旨

(1) 分割の日程

2008年4月 4日 (当社) 代表執行役社長による会社分割の決定

2008年4月 4日 両社による吸収分割契約締結

2008年4月14日(予定) (光洋) 分割契約承認株主総会

尚、本件吸収分割は、分割会社であるイオンにおいては、会社法第784条3項に規定する簡易吸収分割であるため、分割契約承認株主総会を開催しません。

2008年6月21日(予定) 分割期日(効力発生日)

(2) 分割方式

イオンを分割会社とし、光洋を承継会社とする吸収分割（簡易分割）です。

(3) 分割に係る割当の内容

承継会社である光洋が本件吸収分割に際して発行する株式は、普通株式347,760株であり、その全てがイオンに対し割当交付されます。

(4) 割当株式数の算定

本件吸収分割に際して光洋が発行する株式数の算定は、公正性、妥当性を確保する見地から、第三者機関である株式会社KPMG FAS（以下「KPMG FAS」）に依頼し、その算定結果が妥当であると判断し、両社で協議を重ねた結果、イオンは代表執行役社長岡田元也による決定および光洋取締役会の決議を得て、合意しました。

KPMG FASは、両社の経営陣から提出を受けた事業計画に基づきDCF法により価値算定し、以下の割当株式数を算出いたしました。

算定機関であるKPMG FASは、両社の関連当事者には該当いたしません。

| 分析手法 | 割当株式数のレンジ         |
|------|-------------------|
| DCF法 | 333,850株～368,626株 |

(5) 分割により増加または減少する資本金等

該当事項はありません。

(6) 分割会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

イオンは、新株予約権を発行しておりますが、本件吸収分割によるこれらの取扱いに変更はありません。また、新株予約権付社債は発行していません。

(7) 承継会社が承継する権利義務

光洋は、イオンから分割対象事業を遂行する上で必要と判断される当該事業に係る資産・負債および契約上の地位ならびにこれらに付随する権利義務を承継いたします。

承継事業は下記15店舗およびこれらに付設されている商業施設の運営に係るものとなります。

<大阪府> 難波湊町店、平野駅前店、淀川三国店、瓢箪山店、小阪店、吹田千里丘店  
江坂店、高槻南店、豊中緑丘店、箕面外院店、羽倉崎店  
東鴻池店（本年4月下旬開店予定）

<奈良県> 生駒南店

<滋賀県> 膳所店

<兵庫県> 武庫元町店

※屋号はすべて「マックスバリュ」です。

(8) 債務履行の見込み

イオンおよび承継会社光洋は、会社分割の効力発生日以降に負担すべき各社の債務については、履行の見込があるものと判断いたしました。

### 3. 分割当事会社の概要

|                 | 分割会社<br>(2007年2月20日現在)  | 承継会社<br>(2008年1月31日現在)  |
|-----------------|---|---|
| (1) 商号          | イオン株式会社   | 株式会社光洋  |
| (2) 事業内容        | 総合小売業   | 食品スーパーマーケット   |
| (3) 設立年月日       | 1926年9月21日  | 1973年1月18日  |
| (4) 本店所在地       | 千葉県千葉市美浜区中瀬<br>一丁目5番地1  | 大阪府大阪市西区北堀江<br>四丁目4番8号  |
| (5) 代表者の役職・氏名   | 代表執行役社長 岡田 元也   | 代表取締役社長 落合 克彦   |
| (6) 資本金         | 198,791百万円  | 197百万円  |
| (7) 発行済株式数      | 800,208千株   | 348千株   |
| (8) 純資産         | 1,200,783百万円(連結)  | 1,284百万円(単体)  |
| (9) 総資産         | 3,534,346百万円(連結)  | 12,944百万円(単体)   |
| (10) 決算期        | 2月20日   | 1月31日   |
| (11) 従業員数       | 231,116名(連結)<br>(パートタイマーは8時間換算)   | 1,653名(単体)<br>(パートタイマーは8時間換算)   |
| (12) 主要取引先      | 国内外の製造および卸関係会社  | (株)菱食、旭食品(株)、(株)梅澤、<br>(株)JA食肉鹿児島 その他   |
| (13) 大株主および持株比率 | 日本マスタートラスト信託銀行(株) 8.26%<br>日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 5.24%<br>(株)みずほコーポレート銀行 2.99%<br>(財)イオン環境財団 2.64%<br>(財)岡田文化財団 2.51% | イオン(株) 89.93%<br>落合克彦 4.02%<br>落合梅彦 2.98%<br>落合亮二 2.98%   |
| (14) 主要取引銀行     | (株)みずほコーポレート銀行<br>農林中央金庫<br>(株)三井住友銀行<br>(株)りそな銀行<br>三菱UFJ信託銀行(株)<br>(株)三菱東京UFJ銀行 他                                 | (株)三菱東京UFJ銀行<br>(株)三井住友銀行<br>(株)みずほ銀行<br>(株)りそな銀行 他   |
| (15) 当事会社間の関係等  | 資本関係  | イオンは、承継会社の発行済株式総数の89.93%を保有しております。  |
|                 | 人的関係  | 現在、該当事項はありませんが、承継会社の本年4月14日開催予定の定時株主総会において、イオン従業員の取締役3名(内常勤2名)、監査役1名の就任・派遣を予定しております。また、会社分割後は、イオン従業員の出向を予定しております。 |
|                 | 取引関係  | 現在、該当事項はありませんが、会社分割後は、店舗不動産の賃貸および商品の供給などの取引が生じます。   |

## (16) 最近3決算期間の業績

(単位:百万円)

|               | 【連結】 イオン株式会社 (分割会社) |           |           |
|---------------|---------------------|-----------|-----------|
| 決算期           | 2005年2月期            | 2006年2月期  | 2007年2月期  |
| 売上高           | 3,813,635           | 4,040,600 | 4,345,308 |
| 営業利益          | 146,777             | 166,105   | 189,728   |
| 経常利益          | 156,099             | 175,989   | 188,303   |
| 当期純利益         | 62,066              | 28,932    | 57,656    |
| 1株当たり当期純利益(円) | 88.71               | 39.61     | 77.31     |
| 1株当たり配当金(円)   | 12.00               | 15.00     | 15.00     |
| 1株当たり純資産(円)   | 871.63              | 932.50    | 1,141.40  |

(単位:百万円)

|               | 【単体】 株式会社光洋 (承継会社) |          |           |
|---------------|--------------------|----------|-----------|
| 決算期           | 2006年8月期           | 2007年8月期 | 2008年1月期  |
| 売上高           | 39,322             | 42,295   | 17,807    |
| 営業利益          | 973                | 1,131    | 472       |
| 経常利益          | 1,011              | 1,343    | 619       |
| 当期純利益         | 266                | 606      | ▲435      |
| 1株当たり当期純利益(円) | 1,232.54           | 1,861.05 | ▲1,252.10 |
| 1株当たり配当金(円)   | -                  | -        | -         |
| 1株当たり純資産(円)   | 4,637.27           | 5,438.07 | 3,689.83  |

(注) 光洋は、2008年1月期に決算日変更(毎年8月末日→毎年1月末日)しております。

## 4. 分割する事業部門の概要

## (1) 分割する事業内容

近畿圏の京阪神地区における15店舗のSM事業の運営

## (2) 分割する事業部門の2008年2月期における経営成績

|     | 分割事業部門(a) | ※【連結】分割会社(b)   | 比率(a/b) |
|-----|-----------|----------------|---------|
| 売上高 | 27,950百万円 | ※ 4,345,308百万円 | 0.64%   |

(注) 2008年2月期末における分割事業部門の店舗数は、13店舗です。

(※) 当表は分割する事業部門の2008年2月期における経営成績を記しておりますが、「【連結】分割会社(b)」の売上高につきましては、2007年2月期の数値を使用しております。

## (3) 分割する資産、負債の項目および金額(2008年1月20日現在)

| 資 産  |          | 負 債  |          |
|------|----------|------|----------|
| 項 目  | 帳簿価額     | 項 目  | 帳簿価額     |
| 流動資産 | 916百万円   | 流動負債 | 1,796百万円 |
| 固定資産 | 2,370百万円 | 固定負債 | 62百万円    |
| 合計   | 3,286百万円 | 合計   | 1,858百万円 |

(注) 上記金額に、効力発生日前日までの増減を加除した上で確定します。

5. 吸収分割承継会社の状況

商号、本件分割対象事業を除く事業内容、本店所在地、代表者の役職・氏名、資本金および決算期に変更はありません。

6. 会社分割後のイオンの状況

(1) 商号、本件分割対象事業を除く事業内容、本店所在地、代表者の役職・氏名、資本金および決算期に変更はありません。

(2) 本件吸収分割は、企業結合会計基準における共通支配下の取引等に該当します。

(3) 本件吸収分割による2009年2月期の連結業績に与える影響は、軽微となる見込みです。

以 上